

日々の祈り

2021年1月4日(月)~9日(土)

宮崎中部教会



<はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心を向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

<使い方>

毎日の御言葉を、可能であれば声に出して、二回以上読んでみましょう。御言葉をじっくりと味わい、聖霊に導かれるまに、祈りの時をもちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・新しい一年、宮崎中部教会がイエスさまの福音を喜びに溢れて証しする群れとなるように。
- ・主となって下さるイエスさまを一人一人が受け入れ、この方によって信仰の歩みが守り導かれるように。
- ・宮崎の人々が神さまの御手によって守られ、平安を与えられて歩むことが出来るように。

4日(月)

ルカによる福音書 11章 24~26節

「汚れた霊は、人から出て行くと、砂漠をうろつき、休む場所を探すが、見つからない。それで、『出て来たわが家に戻ろう』と言う。そして、戻ってみると、家は掃除をして、整えられていた。そこで、出かけて行き、自分よりも悪いほかの七つの霊を連れて来て、中に入り込んで、住み着く。そうすると、その人の後の状態は前よりも悪くなる。」

昨日の御言葉を思い巡らしましょう。わたしたちは、イエスさまによって悪霊の支配から解放され、神の支配の下に移されました。しかし、わたしたちがその神の支配を受け入れないなら、イエスさまに自分を空け渡さないなら、わたしたちはまた簡単に他のものに心を支配されてしまうのです。わたしたちには、付け入る隙があまりにもたくさんあります。ですから、わたしたちは自分の内にイエスさまを主人としてお迎えし、イエスさまに守って頂かなければならないのです。

5日(火)

エフェソの信徒への手紙 3章 16~17節

どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて、信仰によってあなたがたの心の内にキリストを住まわせ、あなたがたを愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるように。

このことを祈り求めましょう。父なる神さまが、わたしたちを強め、信仰によってわたしたちの心の内にキリストを住まわせ、わたしたちを神の愛に根差し、神の愛にしっかりと立つ者として下さいますように。そしてこれは、父なる神さまの豊かな栄光と、その霊と、力をもって実現して下さるといふ、全く確かな約束でもあります。

6日(水)

使徒言行録 20 章 32 節

そして今、神とその恵みの言葉とにあなたがたをゆだねます。この言葉は、あなたがたを造り上げ、聖なる者とされたすべての人々と共に恵みを受け継がせることができるのです。

神の言葉には、力があります。神の言葉は、わたしたちを造り上げることが出来ます。神の言葉は、聖なる者とされたすべての人々と共に、恵みを受け継がせることが出来ます。光あれと言え、光を存在たらしめる、そのような神の言葉が、わたしたちに与えられているのです。もっと、神の言葉の力に信頼しましょう。神の言葉に、わたしたちは自分自身を、兄弟姉妹を、ゆだねましょう。最も信頼できる力が、そこにはあります。

7日(木)

ペトロの手紙一 1 章 23 節

あなたがたは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、神の変わることのない生ける言葉によって新たに生まれたのです。

わたしたちは、新たに生まれた者です。罪の中で死んでいた者から、神さまから離れて枯れていた者から、神の生ける言葉によって、新たに生まれさせられました。神の言葉には、わたしたちを罪から解放し、命を与え、新しく生まれさせる力があります。この「神の変わることのない生ける言葉」こそ、わたしたちの主、イエス・キリストです。

8日(金)

ヨナ書 3 章 10 節

神は彼らの業、彼らが悪の道を離れたことを御覧になり、思い直され、宣告した災いをくだすのをやめられた。

次の主日礼拝の御言葉です。神さまは、人々が悔い改めるのを待っておられます。確かに、人々が多くの罪を犯し、神さまに背き、逆らい、離れたことを、神さまは激しく怒っておられます。しかし、神さまは忍耐強く、わたしたちが悔い改めること、神さまに心を向けて、神さまと共に生きる者となることを、心から望んで下さっているのです。そのために神さまは、罪深い町ニネベにヨナを遣わし、御言葉を語らせました。そして、人々がその御言葉を受け入れ、悪の道を離れたなら、喜んで彼らを赦されたのです。

9日(土)

ルカによる福音書 11 章 28 節

しかし、イエスは言われた。「むしろ、幸いなのは神の言葉を聞き、それを守る人である。」

明日の主日礼拝の御言葉です。わたしたちが悔い改めるために、一罪を赦され、神さまのもとに立ち帰り、神さまの恵みの中で生きる者となるために、神さまは御自分の御子イエスさまを、救いの御言葉を、わたしたちに与えて下さいました。この神さまの救いの言葉を、赦しの言葉を、恵みの言葉を聞き、イエスさまを信じ、受け入れ、神に立ち帰る人こそ、何にもまさって、まことに幸いな人です。